

## 秋季大会について（審判・ライセンス・その他）

札幌地区バスケットボール協会U12部会  
競技運営グループ 審判 担当：佐々木仁志

### 1) 審判について

- ・ホイッスルカバーおよびレフリーマスクの着用をお願いします。
- ・セカンドウェアでの審判活動は不可です。

### 2) コーチライセンスについて

- ・「ベンチに入って指揮を執ることができるのは、  
原則、D級コーチライセンス以上を有する方とします。」

(大会エントリー時のスタッフ欄の表記を用いて補足説明)

- ①：ヘッドコーチ (D級コーチライセンス以上が必要)
- ②：アシスタントコーチ (コーチライセンスを保持することが望ましい)
- ③：アシスタントコーチ (コーチライセンスを保持することが望ましい)
- ④：マネージャー (コーチライセンス不要)

※不慮の事象が発生した場合に備えて、ヘッドコーチ以外にもコーチライセンスを保持する者がエントリーすることが望ましいです。

※北海道大会および北海道ブロック大会出場の為には、

D級ライセンス以上が必須となります。予選会ではE級で参加、北海道大会および北海道ブロック大会までに、D級ライセンス講習会を受講予定ということが確認できる場合には、「特例」として対応しております。

ただし、受講予定講習会でライセンスを取得できなかった場合には、出場資格を有しないということになりますのでご注意ください。

### 「JBAコーチライセンス制度とは」

・コーチライセンスを取得することによって、コーチに必要な知識・能力等を身に付け、プレーヤーにとって安心・安全な環境を構築すること。また、バスケットボールをはじめとしたスポーツの楽しさを広げていくこと、さらには人間力・競技力の向上に寄与することを目的としています。より多くのプレーヤーがバスケットボールを通じて楽しさを感じ、また、人間として、プレーヤーとして成長できるような環境を作るためには、コーチ自身が人間力を高め、プレーヤーやチームの状況、ニーズに応じて適切な支援をすることが必要です。また、残念ながらバスケットボール界においては、指導現場における様々な問題（暴力・暴言・ハラスメント等）があるのも事実であり、そういった意味でもバスケットボールの知識だけではなく、人間力を備えたコーチの要請が求められています。

「コーチライセンスは試合に参加するためだけのものではありません！！」

### 【例1】

#### ・試合中にヘッドコーチが退場処分になった場合

- ① アシスタントコーチが役目を継続できる場合はヘッドコーチの役目を継続することができる。
- ② アシスタントコーチが役目を継続できない場合は、チーム関係者が役目を継続することができる。
- ③ チーム関係者も役目を継続できない場合は、大会主催者が認めた保護者等が、ヘッドコーチとしての役目を引き継ぐことができる。

※タイムアウトに関しては役目を引き継いだ方が請求することができます。

### 【例2】

#### ・大会当日にライセンス保持者が不在の場合

- ・試合前日まで、もしくは試合当日にライセンス保持者がやむを得ない事由により不在となる場合は、別紙報告書を提出することを条件に、大会エントリー時にスタッフ欄に登録されている者にコーチの権限を与えることとします。

(コーチ→アシスタントコーチ→マネージャーの順に権限を与えます)

### 3) インテグリティ・RPG (リスペクト・フォー・ザ・ゲーム) について

- ・秋季大会試合においてインテグリティおよびRPGに該当するような事象が発生し、テクニカルファウルの適用およびコーチの退場処分などのルール適用があった場合は、札幌地区U12部会から札幌地区協会該当部署へ報告し、その後の対応を行います。ただし、事象案件の内容によっては札幌地区協会からHBA事務局へ報告し、HBA強化・育成委員会内での対応協議案件になる可能性もあります。ベンチでの言動や振る舞いなどには十分にご注意ください。